

「明るい会」が臨時総会

特別決議「原発のない災害に強い北海道を」

明るい革新道政をつくる会（明るい会）は10月8日に臨時総会を開いて、沖縄県知事選挙での勝利に続いて2019年4月の北海道知事選挙の勝利をめざす闘争本部体制などを確認しました。はじめに三上友衛代表世話人（道労連議長）が「胆振東部地震とその後の道内全域での停電により、北海道のいのちと暮らしを守る基盤のせい弱さが明らかになった。こうした事態にあたって『それなりに』対応したという高橋知事に道政はまかせられない。4つの共同目標にもとづく共闘の力で道政の転換が必要だ」とあいさつしました。総会には各加盟団体・地域明るい会から26人が参加し、各分野の被害の実態と支援のとりくみや、各地での「市民と野党の共闘」の前進などを報告するとともに、道民のいのちと暮らしを守る道政を実現する決意が述べられました。総会では三上本部長をはじめとする選挙闘争本部体制と選挙予算を決めるとともに、「原発のない災害に強い北海道を」の特別決議を確認しました。なお、総会では「候補選考委員会」から、遅くとも年内に候補を決めたいと報告されました。

なくせじん肺キャラバン 道内10労基署に要請

10月5日、なくせじん肺キャラバンで道内10の労働基準監督署（札幌中央・札幌東・小樽・函館・室蘭・苫小牧・岩見沢・滝川・旭川・帯広）に要請行動をおこないました。要請では、じん肺防止対策やアスベスト対策の強化などを求めました。なお釧路労基署への要請は10月10日におこないます。

すべての争議解決「1の日」行動

10月1日、札幌駅南口で「すべての争議解決をめざす1の日行動」がおこなわれ60人が参加しました。争議の訴えは福祉保育労明啓院分会・つばさ保育園分会・KKR医療センターの新人看護師自死裁判・自交総連の4つのたたかい・医労連恵和会労組からありました。「1の日」行動に先立って「北の鉄道を守る連絡会」の宣伝行動がおこなわれ、この日の行動の最後には「越冬共闘」からの特別発言（全印総連・公務共闘）もおこなわれました。

北海道鉄道本部「観楓会」に29人 パークゴルフ大会では日景さんが初優勝

9月27～28日、北海道鉄道本部の「観楓会・パークゴルフ大会」が新十津川町と「雨竜パークゴルフ場」でおこなわれ29人が参加しました。パークゴルフ大会では日景晴美さん（滝川支部）が103のスコアで初優勝しました。最上暢さん（苗穂支部）は3連覇がならず2位になり、3位は高橋朋之さん（滝川支部）で、3位まではお米10キロを獲得しました。参加者全員に賞品のお米があたり、ブービー賞の堀克弘さん（旭川支部）はお米10キロでした。

夜の交流会では、ビンゴゲームで新十津川の地酒などの景品をゲットするなど、楽しく交流しました。